

(別添1)

実施方針書（記載例）

組織名：〇〇〇〇

実施箇所：〇〇市●●町□□番地

項 目		事業実施方針や現状を記入してください。
適正性	①基本方針	森づくりの基本方針(どのような森を作っていくのか) ・「マツタケ山の再生」を目標に、広く都市住民との交流により広葉樹の整備を実施し、人と里山との絆を取り戻すことを目標とする。 ・区域内の奥地の人工林の強度間伐により実なる広葉樹の導入を促進し、野生鳥獣との共生を図る。
	②全体計画	全体計画及びその中での今年度事業の位置づけ ・全体計画における「野鳥の森ゾーン」の整備であり、今年度は前年度に整備した作業歩道の周辺の広葉樹の除伐を実施する。 ・「収穫の森」ゾーンの整備であり、5ヶ年間で計画的に人工林の間伐を行うこととしている。
	③実施内容	施業内容、手法及びその理由 ・マツタケ再生に向け、広葉樹を除伐し、林内光環境を整え、アカマツ稚樹の発生を促進する。 ・強度間伐とツツジ等の低木性花木を残置することで、展望を確保し、交流スペースとしての活用を図る。
	④実施主体	事業の主体(請負等の場合の理由) ・〇〇里山クラブ会員及び一般公募によるボランティアにより実施する。 ・大径木の伐採を伴うため、森林組合に委託する。
	⑤積算(単価、歩掛等)	使用単価、歩掛の内容及び適用理由(カッコ書きでha当り単価を記入) ・事業内容が類似する補助事業の歩掛かりを準用、単価は三省協定及び物価版による。(195,000円/ha)
	⑥合法性	実施箇所の法律等による許認可の状況 ・森林法による規制 伐採届提出予定。 保安林指定施業要件に適合。 ・農地法による規制 登記簿地目は「畑」となっているが農業委員会の非農地証明あり(現況森林)。 ・その他の規制 (林業種苗法等に関する記載)
地域性	⑦地域との取組	地域住民等との連携の取組等 ・当地において、毎年、地元小学校による森林環境学習が行われており、講師として参加している。
その他	⑧既存事業や他の資金の活用	・森林整備事業補助金を活用し、事業効果の早期発現を期待する。 ・他の補助金等適用無し。